

みんなで育てよう！「学び続ける子」、「心豊かな子」、「たくましい子」

家庭・地域と学校をつなぐコミュニティ・スクールだより
コミュニティ・スクール
はなおか
No 6 ①
令和3年3月5日
下松市立花岡小学校

今年度もCS活動にご協力ありがとうございました。
新しい対応に追われた1年でしたが、皆さまのおかげでできることを工夫して行うことができました。
令和3年度もみんなで知恵を出し合って、「学び続ける子」「心豊かな子」「たくましい子」の育成を目指していきましょう。



第3回CS推進委員会・第3回学校運営協議会

2月9日（火）に、第3回CS推進委員会と第3回学校運営協議会が開かれました。CS推進委員会では、今年度の取組の振り返りを行い、次年度に向けての課題についても話し合いました。学校運営協議会では、学校評価のために、「学び続ける子の育成」「心豊かな子の育成」「たくましい子の育成」「組織の力・地域の力の結集」「安心・安全の確保」「業務の改善」という6観点について説明があり、次年度に向けての意見が出されました。

まなび部会

振り返り

家庭学習応援の取組

- ・家庭学習応援プロジェクトを定期的に発信して家庭学習の支援の仕方や自主学習ノートの紹介ができた。
- ・取組によって、顕著な伸びとまでは言えないが、児童の家庭学習に対する意識の高まりは感じられた。
- ・保護者からも家庭学習を手助けする意識の高まりが感じられた。

学習支援の取組

- ・CT（コミュニティ・ティーチャー）を保護者から募り、きめ細やかな指導ができた。
- ・カッターナイフを扱う授業では児童の安全面からもCTの効果は大きかった。
- ・これからいろいろな学習で活用できる取組だった。

今後の課題

- ・家庭学習カードも工夫する。
- ・負担を増やさずにより効果を高める家庭学習の方法をさらに工夫する。
- ・CTの名称を活動内容をよく表すものに変更する。
- ・CT活用の年間計画を立て、計画的な募集と運営をする。



こころ部会

振り返り

あいさつの取組

- ・児童が代表委員会で話し合っ取り組んだあいさつ運動やあいさつ週間は効果があった。
- ・学年や学級単位であいさつのめあてを決めたり、個人のめあてを決めたりして児童への意識づけができた。
- ・年度当初より会釈や元気なあいさつができるようになった。高学年の児童はあいさつボランティアの活動を通して下学年の児童の手本になろうという意識をもてた。

今後の課題

- ・「あいさつ」に関して、児童と保護者や地域の方々の意識に多少の差がある。児童はよくあいさつができるようになったと感じているが、保護者や地域の方々は「相手によく伝わるあいさつがさらにできること」を願っている。「相手に伝わる」ということをより重視して具体的な取組を進める。



からだ部会

振り返り

歯磨きの取組

○カラーテスターを使った磨き残しチェック

- ・カラーテスターを使って歯の磨き方について見直すことができた。
- ・児童だけでなく家族で歯について考えるきっかけになり、きちんと磨こうという意識づけになった。
- ・「きれいに磨こう」という意識は高いが、実際の磨き方に反映できていない児童もいる。

○フ歯歯の日・歯みがき大会

- ・毎月8日に「フ歯歯の日」を設定して歯の大切さについて意識づけた。
- ・5年生に歯みがきについての啓発授業を行った。

健康的な体づくりの取組

- ・朝の会や体育の時間に花小ストレッチ体操やジャックナイフストレッチを行った。
- ・花小ストレッチ週間で柔軟性向上について意識づけができた。
- ・体育委員会が企画する運動遊び大会や縦割り班遊びは思うように実施できなかったが、休み時間の外遊びは積極的にできていた。

今後の課題

- ・歯磨きを啓発する声かけの頻度を増やす。
- ・意識と実際の磨き方のギャップをなくすように、評価基準を見直したり、カラーテスターを使用したりして工夫する。
- ・ストレッチの意義を意識させ、継続して児童が意欲的に柔軟性向上に努めるように取り組む。



みんなで育てよう！「学び続ける子」、「心豊かな子」、「たくましい子」

家庭・地域と学校をつなぐコミュニティ・スクールだより

コミュニティ・スクール

はなおか

No 6 ②

令和3年3月5日
下松市立花岡小学校



第3回学校運営協議会

令和2年度の学校活動全般について活動状況を振り返り、意見交換をしました。内容ごとに話し合いの様子を紹介します。（吹き出しは委員さんからの質問や意見です。）

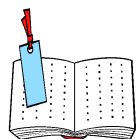
①学校目標を達成するためのプロジェクト(まなび・こころ・からだ)について

CS推進会議の報告も兼ねて1年間の活動について説明がありました。（No.6 ①を参照してください。）

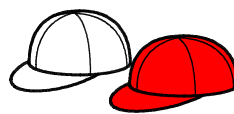


中学生と一緒にいる末武中校区
一斉挨拶運動は有意義なのでこれ
からも継続してほしい。

ストレッチは学校で
どのくらい行われているのか？



☆朝の会での取組やストレッチ
週間の説明がありました。



②組織の力・地域の力の結集について

- ・新型コロナウイルスの影響が大きく、地域の力を活用することに制約があったが、できることを考えて活動した。
- ・学校の活動を積極的に発信するようにした。



今年度、公民館に花岡小コーナーという掲示板が
できた。学校のさまざまな活動を発信するために
しっかり活用してほしい。



③安心・安全の確保について

- ・学級目標を決めて、所属感や自己有用感のある集団づくりを行っている。
- ・さまざまな災害や危険に対応するようにいろいろな形の避難訓練を行った。



災害時の身の置き方を児童自身に考えさせることが、
今後必要だと思う。地域とともに避難について学習す
るのがよい。



学校アンケートの結果から、安心・安全について学校から保護者へのPRが不足しているように感じる。
もっとアピールするとよい。

③業務の改善について

- ・業務を効率化し努力をしているが、目標達成はまだである。今後も改善努力を組織的に続けたい。



残業が多いことやアンケートへの無回答を分析してしっかり改善を進めるとよい。

⑤下松市教育委員会や末武中校区統括コーディネーターからの助言

- ・どのような状況でもその時できることをすることが大切。
「こうしたらできる」という意識で活動していこう。
- ・3つのプロジェクトが効果的に動いているので、「学校地
域連携カリキュラム」を基にして、ステップアップを図
ってほしい。
- ・地域にたくさんの協力者がいる。地域の人材を活用して
いくとよい。



CS推進委員や学校
運営協議会委員の方々の
意見を取り入れて、
令和3年度の花岡小学
校の教育活動が進めら
れます。